

## 令和3年度 事業の状況

### 1 事業概要

当年度は、次のとおり「保存及び維持管理」「継承保存」「公開」「調査研究」の各事業を実施しました。

#### (1) 保存及び維持管理

当年度は、消防設備の更新等を主に実施いたしました。

自動火災報知機の受信盤は昭和63年に設置したもので、耐用年数20年のところ、33年経過しているため、重要文化財の維持管理の補助金対象事業に認めていただき更新を行いました。

また、屋内消火栓のポンプ室の消火ポンプユニットも設置後42年を経過し、劣化が進行しており消火ポンプの起動不能の恐れがあるため、こちらも重要文化財の維持管理の補助金対象事業に認めていただき取り替えを行いました。

一方、建造物関連では、重文1階玄関内の五三桐小紋壁紙は、昭和46年に貼り替えて以来50年が経過し大きな亀裂や剥落が生じているため、重要文化財の維持管理の補助金対象事業に認めていただき貼り替えを行いました。

#### (2) 継承保存

4月10日開催予定の春季鑑賞会「太夫のお点前」は、新型コロナウイルス感染拡大により中止いたしました。しかし、10月16日開催予定の秋季鑑賞会「太夫の舞」は、文化庁の令和3年度文化芸術振興費補助金となる地域文化遺産「島原太夫を知る」事業として、無観客のライブ配信で開催いたしました。

#### (3) 公開

企画展は4月から7月まで「螺鈿の調度展」を、9月から12月までは「吉祥の調度展」を開催する予定でしたが、4月25日から6月21日まで緊急事態宣言が発令されたため、その間は臨時休館としました。秋季企画展も「螺鈿の調度展」を継続し、秋季予定の「吉祥の調度展」は翌年に振り替えました。8月20日から9月30日まで再び緊急事態宣言が発令されたため、秋季公開は10月1日から12月15日まで開館しました。4年1月21日から3月22日までのまん延防止等重点措置のため、3月15日からの公開は、23日からの公開としました。

美術館の入場者総数は、臨時休館を行ったため、4月から翌年3月まで年間117日（前年95日）の公開で2,963人、1日平均25人、（前年3,031人、1日平均32人）でした。

入場者数の1日平均の前年比は、21.8%減少となりました。

「角屋の文化講座」も3密を避けるため中止しました。

ホームページは3回更新しました。

#### (4) 調査研究

『角屋研究』第28号は、前年度に続き年度末までに間に合いませんでしたが、できるだけ早く発行できるように努めております。

寄附金については、上記の文化財の保存、活用のために15件295,000円の浄財をいただきました。

今後も公益財団法人として、文化財の保存と公開に努めてまいります。